

令和5年度（2023年度）はこだてスマートムーブデーの実施状況について（報告）

1 実施日 毎月第1金曜日

2 参加団体数 68団体（団体職員数（会員数）計7,100人）
※参加団体の名称は、別紙「参加団体一覧表」を参照

3 取組内容の登録状況

取組内容	取組団体数	取組団体の割合
ノーマイカーによる移動	46団体	68%
エコドライブの実施	64団体	94%
テレワークの実施	22団体	32%

4 参加団体の独自の取組

- 全日マイカー通勤原則禁止，ノエレベーターデー等
- 社員の健康増進の取組み「ウォーキングフライデー（ウォー金）」実施
- 毎週火曜日はエコドライブの実施
- 急ブレーキ急発進の防止
- ゼロカーボン・ドライブ（社有車3台）
- 社有車への電気自動車やハイブリッド車の導入（アイドリングストップ車等含む）
- 50%以上のテレワークの推進
- 会議やイベントのオンライン化による移動の削減 など

5 広報活動

(1) ポスター，チラシ等の掲示配布（継続）

①市の公共施設 29施設

③公共交通機関

- ・函館バス 横断幕の掲示9台
(毎月2週間程度掲示)



(2) 広報紙等への掲載

- ①市の広報紙 広報市政はこだて（9月号，10月号），
環境部ニュース（109号（7月発行），111号（2月発行））
- ②函館商工会議所会報「ともえ」（2月号）

(3) 報道機関等を通じた広報

- ①新聞社への報道依頼
- ②ラジオ放送：FMいるか「いるかエコのすすめ」
- ③街頭放送（函館時事放声社） ※年間を通して可能な範囲で放送 ※無償協力
- ④フリーペーパー ハコラク3月号掲載（2月配布）

(4) ソーシャルメディア

- ①ごみ分別アプリ「さんあ〜る」（登録数約14,000人）で毎月周知
- ②函館市公式LINE：毎月配信

(5) 関係団体等への参加依頼

- ①協議会構成団体から関係団体等への依頼
- ②事務局から関係団体等への依頼

(6) イベント会場等での広報

①はこだてエコライフ展 2023

(11月25日(土)～12月3日(日) / Gスクエア)

- ・ラジオ番組で、北ガス函館支店 飯田主査がはこだてスマートムーブデーを紹介
- ・のぼりとポスターを展示



②エコライフキャンペーン (2月25日(日) / 蔦屋書店)

- ・エコドライブシミュレーター体験のコーナーでのぼりを掲示

6 はこだてスマートムーブデー街頭啓発

(1) 日 時 9月1日(金) 8:20～8:50

(2) 場 所 函館駅前交差点

(3) 実施内容 ドライバーに対し、事業の周知およびマイカー使用の抑制やエコドライブについて、のぼりと横断幕を使用して啓発を実施する予定のところ、雨天のためのぼりの設置のみとした。



7 市電無料貸切運行

(1) 日 時 11月2日(木) 湯の川発着4往復

(2) 実施内容

- ・車内にスマートムーブデーのポスターを掲示
- ・乗客にスマートムーブデーのチラシやはこだてエコライフのすすめIVなどを配付(246部配付)
- ・車内にスマートムーブデーの情報をアナウンス



8 はこだてスマートムーブデー参加団体アンケート

- ・調査期間 令和5年(2023年)12月27日～令和6年(2024年)1月26日
- ・調査対象 はこだてスマートムーブデー参加登録団体 66団体
- ・回答団体 29団体 (回答割合 43.9%)

<集計結果>

(1) スマートムーブデーに参加した理由

- ①環境(地球温暖化対策等)への貢献
- ②健康増進
- ③地域活性化
- ④企業のイメージアップ
- ⑤その他(自由記述)

	回答数	割合
①	22	75.9%
②	2	6.9%
③	3	10.3%
④	2	6.9%
⑤	0	0.0%
合計	29	

参加理由は、①「環境(地球温暖化対策等)への貢献」が約76%と最も多い。

(2) 団体内で、どのくらいの職員が参加（実践）しているか

- ① 8割以上 ② 6割～8割程度 ③ 半分程度 ④ 2割～4割程度 ⑤ 2割未満

	回答数	割合
①	13	44.8%
②	2	6.9%
③	4	13.8%
④	3	10.4%
⑤	7	24.1%
合計	29	

団体内の参加割合は、①「8割以上」が44.8%と最も多い。

○参加者の内、ノーマイカー、エコドライブ、テレワークの取り組みを実践している割合

ノーマイカー実践割合			エコドライブ実践割合			テレワーク実践割合		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合
①	5	17.3%	①	12	41.4%	①	0	0.0%
②	2	6.9%	②	3	10.3%	②	3	10.4%
③	3	10.3%	③	4	13.8%	③	0	0.0%
④	3	10.3%	④	4	13.8%	④	5	17.2%
⑤	16	55.2%	⑤	6	20.7%	⑤	21	72.4%
合計	29		合計	29		合計	29	

エコドライブの実践割合は①「8割以上」が41.4%と最も多い一方、ノーマイカーおよびテレワークは、⑤「2割未満」がそれぞれ55.2%、72.4%と最も多い。

(3) ホームページに掲載している「参加団体用啓発ツール」について、利用したものはあるか（複数回答可）

- ① 事業所（団体）内での啓発用掲示物 ② 社内報（団体会報）や一斉メールでの周知文例
③ ポスター ④ 自転車リーフレット ⑤ エコドライブ10のすすめ

	回答数	割合
①	14	31.8%
②	10	22.7%
③	14	31.8%
④	0	0.0%
⑤	6	13.6%
合計	44	

④「自転車リーフレット」以外は各ツールとも13%以上の利用があった。

(4) 団体内での参加者を増やすために行っている独自の取組やアイデア（自由記述）

- ・朝礼での呼びかけ、Web 社内掲示板での周知、ポスターの掲示。
- ・毎月スマートムーブデー前日や当日に社内メールにより呼びかけ。社内行事予定表に「スマートムーブデー」取組日を記載し共有している。
- ・毎月、社内のグループウェア（コミュニケーションなど業務効率化のためのツール）で発信している。
- ・スマートムーブデー前日の16時に、庁舎内放送で公共交通機関の利用や、エコドライブの実践を呼びかけている。
- ・エコドライブについてほぼ毎日朝礼で呼びかけており、SDGs 取組内容にも掲載している。
- ・私有車借上げから社有車（ハイブリッド）貸与への移行。
- ・Hakobit を社員のスマホにインストールさせ、期間を定めて目標歩数を設定し、徒歩や市電での通勤を奨励。

- ・会員向けにホームページで周知している。
- ・50%以上のテレワークの推進。

(5) 団体内で取り組む上での課題等（自由記述）

- ・ノーマイカーによる移動の促進方法。
- ・職員の多くが社有車を利用中のため、公共交通機関で通勤すると業務での車の利用に支障がある。
- ・営業で車を使うことが多いことから、平日にノーマイカーを推進するのは難しい状況。
- ・車通勤の方に、スマートムーブデーに公共交通機関を利用してもらうのはハードルが高いと感じる。
- ・冬季は道路の除雪整備がされておらず徒歩や自転車の移動が危険であり、天候も変わりやすく寒いため自家用車を利用する者が増える。
- ・遠距離通勤が多いのでなかなか取り組めていない。
- ・はこだてスマートムーブデーに参加することで環境や地域にどの程度の貢献が出来ているのかを具体的な数字で示せないため、実感が湧きにくい。
- ・社内掲示板で周知はしていますが、実践については各従業員の自主性に任せるしかないので、効果が分からない。
- ・毎年実施しているがマンネリ化しつつある。報酬や取組に対する表彰などがあればよい。
- ・公共交通機関の本数や乗降場所が必ずしも便利ではない。

(6) その他、意見等（自由記述）

- ・一日車を使わなければ〇〇のCO2削減などといった具合に成果が明確で見えるものがあるともっとも参加者が増えるかもしれない。
- ・スマートムーブデーの前日呼びかけ用のアナウンスCDがあればほしい。
- ・市民一人ひとりへ直接呼びかけるほうが、効果がある気がします。
- ・取組みの知名度が低い。(取組みを知らない企業が多いのではないか)

はこだてスマートムーブデー参加団体一覧表

No.	団体名	No.	団体名
1	(一社) 函館国際コンベンション協会	36	(特非) 南北海道自然エネルギープロジェクト
2	(有) 函館時事放声社	37	函館市亀田商工会
3	函館大谷短期大学	38	函館東商工会
4	(株) 富士サルベージ	39	(株) 松本組
5	函館商工会議所	40	北海道教育大学函館校
6	サイエンス・サポート函館	41	函館街づくり開発(株) 函館コミュニティプラザ Gスクエア
7	(一社) 函館地区ハイヤー協会	42	ロシア極東連邦総合大学函館校
8	北海道ガス(株) 函館支店	43	(一社) 函館建設業協会
9	函館地区バス協会	44	(一財) 函館市住宅都市施設公社
10	函館バス(株)	45	(一社) 函館地区トラック協会
11	(株) アイズ	46	(一社) 函館青年会議所
12	(株) 菅原組	47	北海道電力ネットワーク(株) 道南統括支店
13	明治安田生命保険(相) 函館支社	48	(福) かいせい
14	(大) 公立はこだて未来大学	49	函館地方气象台
15	(公財) 函館市文化・スポーツ振興財団	50	函館エコライフ推進プロジェクト
16	道南清水サッシ(株)	51	F M いるか
17	生長の家函館教化部	52	北海道旅客鉄道(株) 函館支社
18	函館工業高等専門学校	53	函館バス商会(株)
19	パソコンショップPCaGOGO(株) リッツ・コンピュータ	54	第一環境(株) 函館事務所
20	道南いさりび鉄道(株)	55	(株) 北海道銀行函館駅前支店
21	函館短期大学	56	全水道函館水道労働組合
22	函館市役所職員労働組合書記局	57	(株) 北海道新聞社函館支社
23	函館朝市協同組合連合会	58	函館環境衛生(株)
24	(株) エスイーシー	59	イオン湯川店
25	函館市女性会議	60	無印良品シエスタハコダテ
26	(株) 相互建設	61	第一生命保険(株) 函館支社
27	北海道労働金庫	62	北海道中小企業団体中央会道南支部
28	北海道開発局函館開発建設部	63	大丸株式会社道南支店
29	北海道渡島総合振興局	64	三井住友海上火災保険(株) 函館支社
30	(株) ドコモCS北海道函館支店	65	ヴィレッジアンドカンパニー
31	函館市	66	オカダビル株式会社
32	北海道大学水産学部	67	ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株) 函館営業所
33	(株) タクマテクノス北海道日乃出事業所	68	自然倶楽部
34	(一財) 北海道国際交流センター		
35	(一社) 北海道中小企業家同友会函館事務所		